

2022.12.18. 聖書預言アップデート

携挙への臆面もない興奮

JD ファラグ牧師

主よ、なんとという喜びの日でしょうか。主よ、この季節に感謝します。今月、あなたが私たちの王であることを思い出させてくださり、この季節、特にさまざまな場所を旅する中、家族や友人、知らない人たちに会い、すれ違い私たちが光となるかもしれません。主よ、私たちが買い物をしている間、あなたが私たちの人生でどういう方であるか証することができますように。あなたに全てご栄光があられます。JD 牧師が教える今朝の学びに共にいてください。あなたが彼に与えたメッセージは、私たちのためにあります。主よ、私たちがそれを受け取り、今日、すべての言動が、あなたを褒めたたえますように。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。オンラインで参加の方も歓迎します。大変嬉しいです。始める前にさっと言います。これからの予定を予習しておいてください。クリスマス 25 日（日）の朝は、信じられませんが、もう来週の日曜日です。その日の朝、礼拝はありません。でもクリスマスイブ 24 日（土）午後 5 時から、クリスマスイブ礼拝をします。楽しみにしています。今日の「聖書預言・アップデート」と「第二ペテロの手紙」が、今年最後で次回は 1 月 8 日（日）です。その期間、マック牧師とレイトゥ牧師が私の代講します。私は、1 月 8 日（日）に戻り、クリスマスイブ礼拝はいますからね。皆さん忘れないでね。皆さん私をこう見ているようですから。「ほ～メレカリキマカ！」（ハワイ語メリークリスマス）いいですか？

それでは、そのことをお知らせしたかったのです。メモしておいてくださいね。それでは！ この第一礼拝は「聖書預言・アップデート」長年毎週しています。そして第二礼拝は、説教で、神の御言葉を節ごとに学ぶ「聖書の学び」、現在「第二ペテロの手紙」です。今日見ていく（第二礼拝）は、「あるクリスチャンは、なぜ決して信仰が揺らぐことがないのか。」落ち込まないのではありません。そうではなく、何であろうと、誰であろうと、自分たちに敵対するにもかかわらず。なぜ信仰が揺るがないのか、です。実はこれは、今から話す今日の「聖書預言・アップデート」と関係があります。留意ください。イエスは仰いました。

「敵が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためです。」（ヨハネ 10：10）

敵は何を盗むのか？ 敵は私たちの喜びを盗みます。敵は何を殺すのか？ 私たちの希望をです。敵は何を滅ぼすのか？ 私たちの信仰をです。ですから、それを話していきますが、それが「聖書預言・アップデート」と繋がっています。オンラインの方、それをハワイ時間 11 時 15 分からライブ配信します。また、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方、JDFarag.org に直接行かれ、検閲不可、中断なしの、今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごとご覧ください。それでは、始めましょう。今日の「預言・アップデート」が、皆さんにとって必要な励ましとなることを心から願います。特に、携挙に対する反対意見が増え続けているにもかかわらず、携挙に対し臆面もなく興奮している方々にとって。近づけば近づくほど、どんどん酷くなるようです。このことは聖書に記されています。今から見ていきますが、この点について、人々から貰う数多くのメールやコメントからも、本当によくわかります。何が起きているかという、批判と蔑すみに相まって、バカにされ嘲られ、祝福された希望、教会携挙という祝福された希望を求める人々を混乱させ、落胆させることに繋がっています。よろしければ、この問題を 3 つの面において指摘したいと思います。

1つ目は、主の来臨に対する私たちのワクワク。

2つ目、この季節、主のご誕生への私たちのお祝い。

3つ目、主の見張り人として警鐘のラッパを鳴らす。

まずは、主の来臨に対する自由で恥じることなき興奮について、聖書の中で最も悲しい一節から紹介します。逆説的ですね。「第二サムエル記6章」12節から読みます。ダビデ王が話すことが記されています。

—II サムエル6：12—（口語訳）

しかしダビデ王は、「主が神の箱のゆえに、オベデエドムの家とそのすべての所有を祝福されている」と聞き、ダビデは行って、喜びをもって、神の箱をオベデエドムの家からダビデの町にかき上った。

—II サムエル6：13—

主の箱をかく（担ぐ）者が六歩進んだ時、ダビデは牛と肥えた物（羊）を犠牲としてささげた。

裏話をご存知の方、彼がなぜそんなことをしたかご存知でしょうか？ その前に起きたことが原因です。

—II サムエル6：14—

そしてダビデは力をきわめて、主の箱の前で踊った。その時ダビデは亜麻布のエポデをつけていた。

—II サムエル6：15—

こうしてダビデとイスラエルの全家とは、喜びの”叫び”と角笛の音をもって、神の箱をかき上った。

皆さん、大丈夫ですか？「叫び」と書いています。皆さん「叫び」です、叫び。（会衆：はい！）

喜びの”叫び”と角笛の”大きな音”をもって。

—II サムエル6：16—

主の箱がダビデの町にはいった時、サウルの娘ミカルは窓からながめ、ダビデ王が主の前に舞い踊るのを見て、

ここで一旦止めます。

（ダビデは）飛び跳ねたり、クルクル回って、叫んでいます。

それで彼女の反応は？

...心のうちにダビデをさげすんだ。

—II サムエル6：17—

人々は主の箱をかき入れて、ダビデがその為に張った天幕の中のその場所に置いた。そしてダビデは燔祭と酬恩祭を主の前にささげた。

—II サムエル6：18—

ダビデは燔祭と酬恩祭をささげ終った時、万軍の主の名によって民を祝福した。

—II サムエル6：19—

そしてすべての民、イスラエルの全民衆に、男にも女にも、おのおのパンの菓子一個、肉一きれ、ほしぶどう一かたまりを分け与えた。...

...こうして民はみなおのおのその家に帰った。

—II サムエル6：20—

ダビデが家族を祝福しようとして帰ってきた時、サウルの娘ミカルは...

興味深い事に2度目です。ダビデの妻ではなく「サウルの娘ミカルは」と書かれています。

...ダビデを出迎えて...

(ダビデのために扉も開けません。)

...言った、「きょうイスラエルの王はなんと威厳のあったことでしょう。いたずら者が、恥も知らず、その身を現すように、きょう家来たちのはしためらの前に自分の身を現されました」。

それで、

—II サムエル 6：21—

ダビデはミカルに言った、「あなたの父よりも、またその全家よりも、むしろわたしを選んで、主の民イスラエルの君とせられた主の前に踊ったのだ。わたしはまた主の前に踊るであろう。

訳すと、「お前のためではない。主のためなのだ。」そして、お”～、もっと良くなります。

—II サムエル 6：22—

わたしはこれよりももっと軽んじられるようにしよう。そしてあなたの目には卑しめられるであろう。しかしわたしは、あなたがさきに言った、はしためたちに誉を得るであろう」。

何が悲しいかと言うと、彼女を気の毒に思います。

—II サムエル 6：23—

こうしてサウルの娘ミカル（この記し方は3回目）は死ぬ日まで子供がなかった。

それほどまでに、主の御手から、罰が下るとは。その時点で関係が切れたような感じです。ダビデは一生、彼女と関係を持つことはなく、彼女は不妊のまま終わりました。なぜ私はここから始めるのか、話の向かう先はどこか、皆さん恐らく分かると思います。でも敢えて言えば、こんにち、多くのミカルは健在です。それで私たちはここにいて、主の御前でワクワクしています。主が戻って来られるが故に。それが主の箱です。主の箱が何だったか覚えていますか？ 契約の箱は、神のご臨在が人間に知覚できる現象、神の現れでした。ダビデは今ようやく、主を、主の箱のあるべき場所に戻しています。皆さん一緒に、神から与えられた想像力と知性を働かせて、この場面を想像してください。こういう節は、ちょっと難しく、聖書ページやデバイス画面上では言葉として読んでいただけですから。デバイスを使っているなら、それは構いませんが、そこに自分を置くことをしません。ダビデがいます。まずはダビデから始めましょう。彼がついに主の箱を携えて到着し、まず最初に王冠を外します。彼は王様ですよ。王衣を脱ぐんです。彼は祭司が着ていたとても質素な亜麻布のエポデを着ます。それから、ミカルを想像下さい。ダビデを窓から眺めています。ダビデが、恥ずかしげも臆面

もなく喜びに興奮して舞い踊り出します。「主のために」歌いながら、叫びながら、角笛を鳴らしながら。私はこの詳細が大好きで、聖霊によってこの詳細を含める必要があると判断されたことを神に感謝します。ダビデはきっとダンスが得意だったのも伝わってきます。いえいえ、そうだったと思います。彼がどんな風に踊ったかは分かりませんが、彼は主の御前で回りながら進み、舞い踊りました。飛び跳ねるということですか？ それでいいですか？ それが舞い踊るというものでしょう？ 飛び跳ねたり、くるくる回ったりしながら前進していたのかもしれませんが。そして、彼の妻。ある解説者が言ったように、彼女はダビデの妻というより、サウルの娘として振る舞っていた。ダビデを眺めながら、恥じた。彼女は無然とし、愕然としました。イスラエルの”王”の光景に。

彼女の父親は、イスラエルの王、初代王であったことを思い出してください。あれでは王様らしくない。威厳がない。あなたは王衣を脱いで、エポデを着て、そんな風に振舞うのですか。恥を知りなさい。」

「私に恥を知れだど？ それは主のためだった。お前が恥を知りなさい。なぜならミカルよ、私がダビデなら、こんなことを言ったでしょう。」

...ハニー...私ならこの時点で、ハニーと呼ばなかったと思います。私ならきっと、この時点で彼女はハニーじゃないから。どちらかという、女よ。...女よ、」ここでやめた方がいいですね。皆さん想像できると思います。こんな感じです。「ミカルよ、私の聴衆は一人だけだ。」私なりにイメージしてみました。ダビデは、そこにいる他の人たちなど、何も気にしていなかったと思います。彼が気にしていた唯一は、主だけでした。そして、「ミカルよ、お前にそんなことを私に対してさせない。あれは主に対してなのだ。私は自分を抑えきれなかった。主が、主の箱が戻って来たのだから。私は飛び跳ね踊る。」

私がしたら、たぶん怪我をして入院してしまうかもしれませんが。この箇所、私が主と共に過ごした時のメモを紹介したいと思います。「今こそ私たちは、主の御前にダビデがラッパの音とともに叫んだように、力を尽くして立つ時です。ミカルたちが偉そうに、適当な信仰心の窓から、心の中で私たちを軽蔑するにも拘らず、私たちの熱意と興奮と希望で、抑えきれず、透き通った、堂々とした謙虚で、臆面もない私たちの興奮のうちに主の御前で踊るのを見る。」何をそんなに興奮しているのですか？ 主の箱が戻って来るからです。主がご自分の民へ、ご自分の民のために教会携挙で戻って来られるからです。実は「第二ペテロ」にこう書かれています。今、第二ペテロを学んでいます、御心なら、今後3章に入ります。実はこれ預言なんです。私たちは基本的に、携挙に近づくとつれ、より悪い状況になると言われています。ミカルがどこからともなく出て来ます。聖霊によって使徒ペテロが語ります。「第二ペテロの手紙 3章3節」、

一II ペテロ 3:3-

まず第一に、心得ておきなさい。終わりの時に、嘲る者たちが現れて嘲り、自分たちの欲望に従いながら、

一II ペテロ 3:4-

こう言います。「彼の来臨の約束はどこにあるのか。父たちが眠りについた後も、すべてが創造のはじめからのままではないか。」

しかし、

一II ペテロ 3:5-

こう主張する彼らは、...

これは興味深いです。この節ごとの学びに入ったら、この点が分かります。

...こう主張する彼らは、次のことを見落としています。天は大昔からあり、地は神のことばによって、水から出て、水を通して成ったのであり、

一II ペテロ 3:6-

そのみことばのゆえに、当時の世界は水におおわれて滅びました。

一II ペテロ 3:7-

しかし、今ある天と地は、同じみことばによって、火で焼かれるために取っておかれ、不敬虔な者たちのさばきと滅びの日まで保たれているのです。

一II ペテロ 3:8-

しかし、愛する人たち、あなたがたはこの一つのことを見落としてはいけません。主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

一II ペテロ 3:9-

主は、ある人たちが遅れていると知っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望

んでおられるのです。

—II ペテロ 3:10—

しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまいます。

—II ペテロ 3:11—

このように、これらすべてのものが崩れ去るのだとすれば、あなたがたは、どれほど聖なる敬虔な生き方をしなければならぬことでしょうか。

—II ペテロ 3:12—

そのようにして、神の日が来るのを待ち望み、到来を早めなければなりません。その日の到来によって、天は燃え崩れ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

「ローマ人への手紙 1 章 16 節」、皆さん、この節は慣れ親しんでいて、よくご存知でしょう。使徒パウロが手紙を書いている、私はパウロのこういう所が大好きです。

—ローマ 1:16—

私は福音を恥としません。...

福音とは何でしょうか。ええ、私たちのお決まりは、「第一コリント人への手紙 15 章」最初の 4 節です。しかし、パウロが福音を説明するのはそれが初めてではありません。使徒パウロが一番最初に、福音とは何かを説明するのは、聖霊に導かれテサロニケの教会に書いた、彼の最初の書簡：「第一テサロニケ」です。それが、使徒パウロが福音とは何かを説明した時です。彼は「」の文脈で話します。言いますよ～「携拳」です。福音とは、イエスが（地上に）来られ、十字架に掛けられ、葬られ、3 日目によみがえられ、そして、彼はある日戻って来られる事。それが良い知らせ＝福音です。私は福音を恥としません。あなたがたは私を恥じることはありません。福音が故に。それはあり得ません。パウロが福音を恥と思わない理由は、聞いてください。

...福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人に救いをもたらす「神の力」です。

「私は安全策を取ろうと思います。トーンダウンして、興奮しすぎないように。」（は～？？？聖書のどこにある？）彼らは人々が愛情を込めて「冷凍の選民」と呼び、全てが堅苦しいのです。私は違います。もちろん皆さん、ご存じですね。違いま～す！！ 屋上から叫びなさい。角笛を手にして、叫び、角笛を鳴らしなさい。「イエスが来られます！！！」—拍手— なぜ恥ずかしがり、内気になるの？ —拍手喝采— OK。わお～ 主に私を抑えてくださいと祈ったら、主はこう仰いました。「あなたの預言・アップデートは、今日のそれについてではありませんよ。」ですからそれは、私の話で拘りです。イエス・キリストという人物にある救いの福音を、恥ずかしがることに恥じなさい。

「ミカルがどう思うのか？ 彼らはどう思うのか？」の旗印のもと、臆して、たじろぐことを恥じなさい。なぜならあなたがそうするなら、人を恐れる事で畏です。畏にかかります。なぜなら、今あなたは踊り跳ねているのが、彼らのドラムの音に合わせて踊ることになりますよ。

「もうちょっとトーンを下げた方がいいよ。」「あまり出過ぎないように。」

誰かがダビデを引き止めて、こう言ったとします。「何をしていますのですか？」「私は何をしていますかって？ 主の箱がここにあるんだぞ！！！」「なぜ王衣を脱いで、エポデを着けるのですか？」その質問をされても、ダビデは答えられない気がします。彼はそのまま、踊り、飛び跳ね、回転し、叫び、歌い、喜び始めたと思います。願わくは、ダビデのように、私たちは、人にどう思われるかを気にしませんよう

に。なぜなら終わりの日に、問題になるのは唯一、主がどう思われるかです。そう、私があなただの機嫌を損ねたら、誤解のないように、何と言えは良いでしょう。まあ、とても愛がないように聞こえるかもしれませんが言います。「私は気にしません。」それが最高の答えです。次回はたぶん、もっと良いのをトライします。ええ私は気にしません。一拍手一

そう、私が気にするのは主だけです。「私は主を喜ばせているだろうか？」私は主を喜ばせているだろうか？ 神がどれだけ喜んで下さるか知っていますか？ 因みに、補足しますと、私たちは永遠で何をしていると思いますか？ 私たちは、主を褒めたたえ、主を礼拝賛美するのですよ。何？ 後ろのほうの隅っこにでもいるつもりですか？ ごめんなさい。このことでもう1つ。主よ、いいですか？ そうであって欲しいです。言う必要があるからです。私たちは歌います。私は賛美が大好きで、主を礼拝すること、主のために歌うことに関して、誰に対しても厳しく接したくありません。この栄光のこちら側のこの天幕は、「第二ペテロの手紙」で見ると通りです。つまり、霊は喜んでいますが、肉は弱いということです。私たちは来る時、疲れているんです。特に木曜日の夜は。私はそうなんです。これを共有します。恥ずかしげもなく開き直ります。これについて皆さんに率直に言います。ある木曜日に、私は大変疲れています。私は思います。「なあ、教会に行く気にならない。」そして気付くんです。私は牧師だ。教会に行かない。私が聖書の学びを教えるんだから。でも、ここへ自分を引きずってきて、本当に疲れているんです。いい疲れ方ですよ。神の事で疲れている。でも私は疲れているんです。それで、私はここまで来れば、あとはカポノが始めるだけです。するとこうなります。あ～～！ それが何かわかりますか？ 詩篇 16 篇 11 主はその民の賛美に宿られ、その臨在には喜びが満ち溢れる。そこが喜びが戻って来るところ。私たちが主を賛美している時、主に向かって賛美していると、こんな風で、

♪Hark! the herald angels sing Glory to...♪ イビキ...

そういう状態のときは…したくないけど、そう、私がいかにしたら、オンラインの方のスピーカーを吹っ飛ばします。でも、そうなるでしょう。大声で壮大に歌います。私が知っている誰もをあまり責めたくないんです。みんな自意識過剰なんです。腕を上げると、わきの下に汗ジミが、とか。それで私たちは、違った方法で腕を上げます。こんな角度なら安全だから。「そう、主を褒めたたえます。」一(笑)一でもダビデは、こうはしなかったと思います。彼は飛び上がって、「私は汗染みを気にしない。あなたがどう思おうと気にしない。音程が外れていても気にしない。なぜなら、私が理解しているのは、「主に向かって喜びの声を上げる。」歌っても雑音にしかならなくても、主にとっては喜びです。私の音程や調和が外れていても、主は気になさらないと思います。私は主を賛美しているのです。主だけが唯一の問題です。私はとてもワクワクしています。あなたが私のことをどう思おうと、私は気にしない。あなたのためではなく、主のためだから。では、一拍手喝采一 はい、主を褒めたたえます。

ではこれ、2つ目について話しましょう。まだ血圧が上がっていない人は、これで上がるかもしれません。毎年、この時期になると、さらに悪化していますけど、私たちは、クリスマスの季節に、世の救い主の誕生を祝いたいのです！！ いいですか！！「Joy to the World」を歌いたいんです。皆さん、悪化していると思いませんか？ 世、だけでなく、敢えて言えば、一部のクリスチャンでさえも、私たちのクリスマスの喜びを取り去ろうとする。彼らに対して、私は謙虚に言います。クリスチャンでない人たちには、クリスチャンに言うようには言いませんが、でも、ノンクリスチャンの皆さん、私たちのクリスマスを渡しませんよ。とにかく今はまだね。または携挙の後に、あなたは手に入れられるでしょう。あなたが手にするのは、因みにネタバレですけど、私たちがいなくなった後のクリスマスなら、7度しかないでしょう。

でも構いません。どうぞどうぞ。でもそれまでは、私たちの喜びを奪えませんか。私たちは、世の救い主の誕生を祝うのです。「ええ、でも、牧師さん、異教徒の祝日ですからね。」分かっています。「イエスが12月25日に生まれたわけではありませんよ。」私は分かっています。「異教徒の祭典”サタネイリア”ですよ。」私は分かっています。「この木は、これらの偽りの神々を崇拝する異教徒の儀式だったとさえ言えます。クリスマスツリーにするのですか？」はい。オンラインの方、後ろにツリーがありますよ。どうです？ 一拍手ー 嫌味ったらしくなってきました。その理由は、あのツリーは、十字架を表します。私の聖書は語ります。

「木にかけられた者はみな神にのろわれた者だからである。」(申命記 21:23)

私の救い主は、あの木、十字架の上で死ぬために生まれて来られました。十字架上の完成した御業。それがツリーの表すことです。ツリーのライトはどうでしょう？ イエスは世の光です～～！！ では、ツリーの下プレゼントは？ ほ～ イエスがあの木にかけられた時、全額を支払って購入された永遠のいのちという贈り物の象徴です。ですから、では私は、愛を持ってしたいと思います。私たちを放っておいてくれませんか？ あなたはツリーが嫌？ 結構です。何でも構いません。あなたは私たちを攻撃したいですか？ 私たちを批判したいですか？ あれはあなたのためではなく、主のためです。主のもとにです。これに関して最後の1つ。毎年クリスマスになると、どうか聞いてください。毎年のクリスマスが、イエスが戻られる前の最後のクリスマスかもしれません。私は、ここでの言葉がありませんが、これが最後のクリスマスだと言えるようになりたいです。はいそうなんです。主よ、早く来てください。でもなり得ます。しかしポイントは、「その時」、もしもではなく、主が来られるその時、主は、赤ちゃんではありません。携挙ではなく、再臨の時の啓示を受けイエスを見た時のヨハネの描写を聞いてください。携挙は、イエスが私たちのために来られる。再臨は、イエスは何万人もの私たちを連れて来られる。

「ヨハネの黙示録1章」、7節から

一黙示録 1:7-

見よ、その方は雲とともに来られる。すべての目が彼を見る。彼を突き刺した者たちさえも。地のすべての部族は彼のゆえに胸をたたいて悲しむ。しかり、アーメン。

一黙示録 1:8-

神である主、今おられ、昔おられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」

一黙示録 1:9-

私ヨハネは、あなたがたの兄弟で、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐にあずかっている者であり、神のことばとイエスの証しのゆえに、パトモスという島にいた。

一黙示録 1:10-

私は主の日に御霊に捕らえられ、私のうしろに（ここで再度）ラッパのような”大きな声”を聞いた。

「ねえ、もうちょっと下げてくれませんか？」いいえ！！

大声、と書いてあるからです。再度ラッパも出てきます。「ラッパのような大きな声を聞いた。」

一黙示録 1:11-

その声はこう言った。「あなたがたを見たことを巻物に記して、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルディス、フィラデルフィア、ラオディキアに送りなさい。」

一黙示録 1:12-

私は、自分に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見えた。

一黙示録 1:13-

また、その燭台の真ん中に、人の子のような方が見えた。その方は、足まで垂れた衣をまとい、胸に金の帯を締めていた。

これを見てください。14節、

一黙示録 1:14-

その頭と髪は白い羊毛のように、また雪のように白く、その目は燃える炎のようであった。

一黙示録 1:15-

その足は、炉で精錬された、光り輝く真鍮のようで、その声は大水のとどろきのようであった。

大きな音を立てて流れる水。

一黙示録 1:16-

また、右手に七つの星を持ち、口から鋭い両刃の剣が出ていて、顔は強く照り輝く太陽のようであった。目を向ける事も出来ない。まぶしすぎる。

それから17節、

一黙示録 1:17-

この方を見たとき、私は死んだ者のように、その足もとに倒れ込んだ。...

それを主への畏れと呼びます。

...すると、その方は私の上に右手を置いて言われた。「恐れることはない。わたしは初めであり、終わりであり、

一黙示録 1:18-

生きている者である。わたしは死んだが、見よ、世々限りなく生きている。また、死とよみの鍵を持っている。

このことが3つ目に繋がる理由で、ぴったり一致します。それは、主の見張り人として警告を発することに関連し、私たちの億面もなく恥じることない興奮のことです。

前置きとして、こんな風に言わせてください。遠慮している場合ではありません。安全策をとっている場合ではありません。遊んでいる場合ではありません。「エゼキエル書3章」17節からです。

一エゼキエル 3:17-

「人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの家の見張りとした。あなたは、わたしの口からことばを聞き、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。

一エゼキエル 3:18-

わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

なぜか？ あなたが警告しなかったから。あなたが躊躇いすぎたから。安全策を取って、彼らに警告しなかったから。

一エゼキエル 3:19-

もしあなたが悪い者に警告を与えても、彼がその悪と悪の道から立ち返ることがないなら、彼は自分の不義のゆえに死ななければならない。しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。

使徒パウロが言った通りです。「私には誰の血の責任もありません。なぜなら、私はあなたがたに教え、警告し、神の評議会のすべて、悪い事も良い事も厳しい事も語るのをやめなかったからです。」(使徒 20:26-27 参照) 主は、長年に渡り、私の心に働いて下さいました。この点、特にここ 2、3 年のことです。主は私の心を知っておられます。恐れすぎている牧師を気の毒に感じます。人を恐れ、怖がり過ぎている。本当にかわいそうな人だと思います。彼は救われましたが、ええ、生まれ変わっていますよ。彼は携挙されるのですか？ はい。天で彼に会うのですか？ はい。しかし彼には、これから起こることを警告しなかったため、人々の血の責任がその手にあります。これがおもな理由から、今日の残りの時間を使って話したいと思います。皆さんの励みになるよう願います。その為、先に進むので、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信を終了します。ウェブサイトへ直接どうぞ。

一本編一

冒頭で話したように、この深刻な問題に対し、多くの膨大な量のご意見を貰いました。皆さんに、その一部を紹介します。アイルランドのブレッタ・マギューアンさんからです。

「親愛なる J.D.へ 1 年前、ある友人があなたの預言・アップデートを勧めてくれました。聖書を信じる牧師から、惑わし危機策略について、またこの欺瞞に満ちた時代に神の御言葉の真理を聞けるのは大変素晴らしいことでした。ワクチンが出たとき、私はそれを受けようと祈りました。聖霊は、私の体は御霊の神殿であり、受けてはいけなはいとはっきりと仰いました。友人も家族も失った孤独な立場で、家族には私が筋違いだと思われました。それはきっと、アイルランド特有なのでしょう。どんな筋道があるにせよ、とうの昔に失っています。(言い換えれば、失ったのですね) 成人した子どもたちは、未だに私を陰謀論者と呼び、真実を見抜けないでいます。私が関わっていた教会は、昨年 10 月、教会堂が再開されて戻ってくるには、ワクチン接種を受けるよう助言しました。そして、クリスマスの週、あるリーダーから、まだワクチンを打っていない兄弟姉妹へ、共通の益のためワクチン接種するよう祈ってほしいというメールが届きました。私は非常に幻滅し、そのメールに自分の立場とともにこの事実を、(聞いて下さい) 私が勤務していた病院の同僚 3 人が、ワクチンで重篤な副作用を起こした事を伝えました。そして、私はもう教会指導者の権威下にはいられないので、ミニストリーから退く必要があると伝えました。これには、体の一部から反抗だと批判され、いじめを受けました。ちなみに、彼らの名前はミッシェルです。他の教会員から個人的に連絡があり、「よくやった。」と言われました。彼らもまた、同様に感じてはいましたが、何かをする準備はできていませんでした。そのメールについて牧師から連絡があり、私の退任を受理しましたが、他の 3 人のリーダーからは全く連絡がありません。全員、政府から給料もらっている仕事です。一人は、ウイルス学者です。ふむ。。とあなたは仰るでしょう。あなたの日曜の預言・アップデートは、私にとって学びで、祝福されています。あなたはあの煩わしい疑問をすべて解決してくれました。特に、トランプについて。クリスチャンが、トランプをクリスチャンだと主張し、私たちの力強い、強大な神ではなく、彼に従うことが私には理解できません。ワクチンと 9.11 に関するあなたの教えは、私たちが長い間、その下で生きてきた欺瞞に気付かせてくれました。あなたのミニストリー、リサーチ、ユーモアのセンス、あなたの教え方に感謝します。あなたとご家族に祝福を。ブレッタより。」

このメールは、私たちが世界中の人々から受け取る多くのメールの代表的なものです。基本的に同じ内容です。こんな風に(本編を)始めた理由は、私は、特に訪問される人たちが、「あなたのしていることを止めないで下さい」と言ってくれるのが大好きです。私がいつも言いたいのが、「ええ、止めるつもり

はありません。」例え止めたいとしても、神が私をそうさせられないでしょう。そのあたりは、どうなったかヨナに聞いてみてください。私は決して止めません。また私は止めないだけでなく、決して、抑えません。私は警鐘をならさねばなりません。特に、次に何が起こり得るのかを。それは何かというと「破滅的伝染病」と呼ばれるものです。皆さんこれを聞いていますか？「それは何ですか？」ええ、この先まともや世界的挑戦の卓上演習です。画面は彼らのウェブサイトです。興味深いことに、このイベントには、その他の以前のイベントと共に年表がありますまず、卓上演習のページから、「破滅的伝染病」の見出しで引用を始めましょう。

ー引用ー

「ジョンズ・ホプキンス健康安全保障研究センターは、世界保健機関（WHO）とビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と共同で、ベルギーのブリュッセルで開催のグランドチャレンジ年次総会にて、パンデミック卓上演習「破滅的伝染病」を実施。」いつ行ったのか？ 今年の10月23日です。「破滅的伝染病」の見出しの下には、「イベント 201」と同じページのリストがあります。この話は2年以上前からして来ましたね。引用します。

ー引用ー

「ジョンズ・ホプキンス健康安全保障研究センターは、世界経済フォーラムと、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と共同で、2019年10月18日、ニューヨークで、高水準のパンデミック演習“イベント 201”を開催した。この演習の目的は、深刻なパンデミックによる大規模な経済的・社会的影響を軽減するため、世界の企業、政府、公衆衛生の指導者が必要なパンデミック対策、対応策の決定、協力について説明することである。」

わお～彼らはどうやって分かったのか？ なぜなら彼らの計画だから。こんな言葉を使うのをお許してください。実行する計画です。これが2019年10月でした。ふむ。。予定通りです。スクロールダウンすると、その気になればですけど、この同じページの一番下に、「Dark Winter/暗い冬」が掲載されています。これも別の卓上演習です。2001年6月22日、23日でした。どうか聞いてください。2001年6月は、意味深なのは分かっていますが、2001年9月11日の前です。お、因みに、彼らが9.11について行っていた演習、シミュレーションの数を知っていますか？ はい、これが6月でした。引用します。

ー引用ー

「“Dark Winter/暗い冬”の演習では、米国民への秘密裏で実施の天然痘攻撃を描いた架空のシナリオが描かれた。」お～、かなり近い。天然痘じゃなくて、炭疽菌だったんだ。

ー引用継続ー

「このシナリオは、2週間かけ実施の3回連続のNSC会議で設定。演習は、ワシントンDCのアンドリュース空軍基地で実施した。暗い冬の“脚本”、脚本とその他のイベント資料は、カンファレンスWebページで閲覧可能。」画面は、ユーチューブで公開されている、彼らの「破滅的伝染病」主要部の実際の動画のスクリーンショットです。このシナリオを「SEERS」の頭文字で名付けています。SEERSとは、略称です。S：強烈、E：伝染病、E：エンテロ（腸内）ウイルス、R：呼吸器系、S：症候群 2025
今は、いつです？「待って下さい。牧師さん。深読みすぎじゃないですか？」結構です。何と言われようと構いません。私は気にしません。こう言わせてください。彼らは、2019年10月19日「イベント 201」を行いました。彼らは今回のを2022年10月に行いました。教えてください。教えてください。私は聞きますよ。喜んで聞きます。しかし、あえて言うなら こんな言い方をするのは難しいでしょう。

「あ～そんなことないって。」いいえ、そうですか？ 分かりました。誰も気に留めなかった。事実、2020年まで誰も「イベント 201」を知りませんでした。そして突然、起こり始めた。「ちょっと待って。彼らはシミュレーションしていたんだ。」事実、非常に興味深いのは彼らのウェブサイトを見ると、ケチな動画があります。「イベント 201」世界経済フォーラムのウェブサイトには、卓上演習の動画がすべて掲載されています。6時間といったところでしょうか。ほとんど見ました。私のために祈ってください。つまり、私はほとんどを観て、そこから”鍵”を抽出し、それをここ数年、預言・アップデートで共有しています。しかし、イベント 201 の卓上演習で彼らが話していたのは全て、(今回のイベントは後で話しますが)「誤情報を支配せねばならない」です。わお～「偽情報を。反ワクチン運動が起きるだろうから。」

ところで、ついでに言うと、ウラジーミル・レーニンの言葉が引用されています。

「支配する最善の方法は、自分が反対勢力をリードすること。」彼らは、正に彼らが起こると話した通りに、あらゆる出来事を話しています。ソーシャルメディアの投稿、検閲、誤情報、反ワクチン、陰謀論。私たちはそれについて話しましたね。さっと言います。その名誉を毀損するような造語を誰が作ったか知っていますか？ CIA です。なぜ、陰謀論という言葉が生まれたか知っていますか？ なぜなら、彼らは自分たちの陰謀を隠蔽したかったからです。何の陰謀？ ジョン・F・ケネディの暗殺事件。皆さん私を横目で見えていますから、もう締めくくった方が良さそうです。彼らは私たちに、レッテルを貼りたいのです。「ああ、あなたはティンホイル帽子の陰謀論者の一人なんですね。」じゃあ、ちょっと待って下さい。ティンホイル帽子は持っていません。本当は帽子さえ持っていません。そろそろ被ってみようかな。帽子は持っていないんですよ。私には、天に行ったら主の御前に投げ出せる冠がいくつかあります。でも、私は、陰謀論支持者だか何という言葉であれそこには陰謀があるからです。理論ではありません。陰謀論の包装紙で包んでしまうなら、それを捨て去ることになるからです。それこそ、彼らの思うつぼです。しかし真実は、これは陰謀です。陰謀って何か？ これらの共謀者と呼ばれる人たちは、共謀しています。それは悪魔の陰謀です。これらの共謀者は、せいぜい悪魔に憑依されたようなものです。彼らは、人間を滅ぼす悪魔の計画を実行するため、サタンの手先として機能しています。つまりできるだけ簡単に言えば、それが陰謀です。陰謀論ではなく、陰謀の事実です。私はイザヤが言ったのが大好きです。

「彼らの陰謀（謀反）を恐れてはならない。彼らを恐れてはならない。わたしを畏れなさい。」（イザヤ 8:12 参照）

分かりました。はい。ちなみに彼らは、終わりの時に彼らがそうすると神が告げられた通りをしています。では、纏めます。理解する事が大切なのは、2001年以前、そして2019年へ早送りし2022年の今、これらの俗に言う”架空のシナリオ”全てです。それらは悪で、邪悪で、脚本化され、事前計画され、予定された出来事です。これが起こります。

「牧師さん。よく人が言うように思い切ったことをすると心配じゃありませんか？ つまり、リスクを背負っていると思いませんか？」聞いてください。私は、主の御前でこう言われるよりも、リスクを取って主の御前に立ちたいです。「なぜもっとリスクを取らなかったのですか？ あなたがしようとしていた事は自己保身だったのですか？ あなたは自分の命を守ろうとしているだけです。」「自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、もし失うなら、失うものなどありません。わたしのためにいのちを失う者はそれを救うのです。」（ルカ 17:33 参照）

逆説の逆説です。これが理由です。お～また、神が私の心に働きかけてくださっています。時にこんなコ

メントを貰います。「私は登録解除します！」良いですよ。「もうあなたをフォローしません！」まるで登録解除できないかのように、彼らはまた投稿するんです。「登録解除するぞ！」どうぞ。「あなたはフォロワーを失うぞ！」(どうぞどうぞ) 聞いてください。私をフォローしないでください。私たちはイエスのフォロワーです。いつから数字にこだわるようになったのですか？「お～わお～あの人の登録者数見ましたか？」ええ、それは別の機会の、別のトピックです。

民の数を数えたときのダビデを思い出します。致命的な決断です。(II サムエル 24:10 参照)

お～神よ、私たちを数から解放してください。ですから、これが話の向かう先で、締めくくっていきます。2019年の「イベント 201」だけで、2022年、数ヶ月前10月のこのイベントを表すはずで、非常に重要視すべきです。見張り人として、私はラッパを鳴らし、皆さんに警告し、私の手に誰の血の責任もないようせねばなりません。結論は、最近こんな風に話してきました。毎週のように、ですが、私がこれを行うのに、飽き飽きしないでほしいのですが、私は言い続けます。これが終わりです。私たちは終わりの時にいます。これが終わり方です。これが終わる方法です。その終わりを受ける側として、2つの反応があります。あなたはワクワクするのか、震えあがるのか。あなたがワクワクするなら、あなたや私はまず、「わ～い。手放そう！！遠慮せず好きに喜び踊る！！イエスの御名で。」どんなミカルにも、あなたからワクワクを奪わせないでください。敵に、あなたから喜びを盗ませてはいけません。主にあっての喜びですよ。敵に、あなたの希望を、祝福された希望を殺させてはいけません。敵にあなたの信仰を滅ぼさせてはいけません。

正しい者(義人)は、信仰によって生きる。(ガラテヤ 3:11)

ですからこれはワクワクなのです。あなたの友達が、SNSの彼らを友達と呼ぶべきか私には分かりません。友達リクエスト。あなたは私の友達ではないよ。敵からのリクエストだと思います彼らが投稿している物を見ましたか？でもそんな友達が言う。「あなたはこの件に関して、やりすぎだと思うんです。」いいえ、やり過ぎじゃありません！！「私たちには、この先、10年20年30年あるかもしれませんよ。」いいえ、ありません！！

「おお、頼みますよ。どうしてそんなに独断的なんですか？」あなたはからかっているのですか？これ、OK。さっと言います。最後まで聞いてください。この3年間で起こったことを見てください。2019年に戻りましょう。いいですか？3年前です。今から3年後に早送りしてください。十分です。でしょ？

(会衆：はいそうです) 気分が良くなりました。皆さんもそうですように。ワクワクするのではなく、震えあがる人について話しましょう。それは良い事です。私はあなたを、御世辞で地獄へ行かせるより怖がらせてでも天国へ導きたい。「ええあなたは私に、地獄を怖がらせています。」主を褒めたたえます。私は、神が私に召されたことをやり遂げました。「これは震え上がります。」よろしい！それがあなたをイエスの御前にひざまずくよう駆り立てるはずです。今がその時です。なぜ、永遠のいのちという人生で最も重要な決断を遅らせるのですか？世で起こっている事は分かりますよね？全て神がそうなると思った通り起こっています。あなたは何を待っているのですか？クリスマスですって？その前かもしれません。決して分かりませんよ。OK。ごめんなさい。これも、私たちが決して怯んだり、抑えたりしない理由の1つです。事実、使徒パウロは言いました。

「福音を宣べ伝えないなら、私はわざわいです。」(I コリント 9:16)

これはアメリカの福音でも、愛国的な福音でも、Fox Newsの福音でも、共和党の福音でもありません。そうではなく、イエス・キリストの福音です。(会衆：アーメン)それが福音です。それが唯一の福音・

良い知らせです。福音とは何でしょうか？ 福音とは、イエスが（地上に）来られ、十字架に掛けられ、葬られ、3日目によみがえられ、そして、ある日戻って来られる事。良い知らせです。（会衆：ハレルヤ）「救いのABC」とは何か？ 子どもにでも分かる救いのシンプルな説明です。形式ではありません。形式にしないでください。神があなたの行く手に置かれた誰かに福音を伝えることを容易にするツールです。クリスチャンは恐れています。「もしも彼らに拒絶されたら？」と。それではサタンにやられていますよ。考えてみてください。サタンは、あなたが人々に福音を伝えることを望んでいます？ それでサタンはどうするのか？ おお、サタンはこんな風にあなたの邪魔をしますよ。「彼らは友達解除するよ。ブロックされるぞ。悪口を言われるぞ。拒絶されるぞ。」責任は私にありません。私は、神の御言葉、イエス・キリストの救いの良い知らせの種を撒く。種がどの土に落ちるかは、私の責任ではありません。彼らの責任です。私はするよう言われたことをした。では「救いのABC」とは何か？

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。自分が罪びとだと自覚しないと、なぜ救い主の話に興味を持ちますか。「ええ、私は良い人間ですよ。」結構！あなたは大変良い人でしょうね。「お～彼らには良心がある。」実に、エレミア（17：9）は言いました。「人の心は何よりもねじ曲がっている。」でもそれは木曜日の夜の「エレミア書」の学びです。あなたは良い人かもしれませんが、（神の基準で）決して十分ではありません。地獄には多くの良い人々がいて、天国には多くの嘆かわしい罪びとがいるでしょう。私はその最前列にいます。皆さんも私のすぐ後ろ、そんな離れてはいないでしょうね。ローマ人への手紙3章10節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙3章23節がその理由、

「すべて（殆どではなく全て）の人は罪を犯して、
...全てというのは全員です。私たち一人ひとり全員が、あらゆる人が、罪びととして生まれました。ですから、神の御国に入るためには、新生しなければならないのです。「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」それが実際、罪という単語の意味です。アーチェリー用語です。「あなたは的を外している。届いていない。罪を犯した。」神の完璧な基準の的に届いていないのです。その罰則は何か？
ローマ人への手紙6章23節、死の罰則です。

「罪の報酬は死です。」（ローマ 6:23a）

私たち誰しもが罪びとだと分かりましたねその意味は、誰しもが、死刑宣告されているのです。

「そうなのですか？ かなり悪い知らせですね。」はい、その通りです。しかし、悪い知らせが悪ければ悪いほど、良い知らせがさらに良くなります。正しい英語ではないのは分かっているのでメールしないでください。でも悪い知らせは、私たち誰しもが死刑宣告されていて、良い知らせは、

「しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b）

それが良い知らせです。次にB、非常に中心です。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

一ヨハネ 3：16一

神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を”信じる者”が、...”

イエスに信頼を置く者が、イエスを信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

因みに、御心ならクリスマスイブ礼拝は、それを解説したいと思います。神がイエスを死からよみがえらせたことを信じる事という詳細があるのはなぜか？ 私はイエスを信じます。なぜ私たちがイエスが死からよみがえったことを信じるのがそんなに重要なのでしょうか？ これはクリスマスイブ礼拝に来るしかないでしょう。最後に C、C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

「あなたの口でイエスは主と告白し、これは心で信じた結果ですよね。主を認めると、イエスを呼び求め、イエスが主だと口で告白します。

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節

『主の御名を呼び求める者は”みな”救われる。』

ちょっとご辛抱ください。今、オンラインで見ている人かもしれません。あなたは偶然見ているのではありません。これは、このような時のための神の摂理です。今日があなたの救いの日です。今日があなたの救いの日です。イエスを呼び求め、イエスを信じてください。イエスがあなたの唯一の希望です。イエスがあなたの唯一の逃げ道です。イエスが私たちの唯一の逃げ道です。イエスが私たちの唯一の希望です。今日が救いの日です。それでは、今日の「しかし、神は。」の証、ドティさんからです。

「親愛なる JD 牧師。私たちのクリスマスの”救いの ABC”、”しかし、神は。”の証を紹介したいと思います。ベヴと私は、バージニア州ブルーリッジマウンテンの小さな町フロイドに住んでいます。私たちは、イエスが本当に本当にまもなく来られることを知っています。私は定期的に「ジーザスカード」と呼ぶ、裏に必ず「救いの ABC」を書いたカードを配っています。ABC のマグネット看板を 2 つ注文し、クリスマスパレードに参加することにしました。申し込みの電話をしたとき、女性が私たちが誰を代表しているのかと聞いたので、私は「イエス」と答えました。(はい、さらに良くなりますよ。)彼女は尋ねました。

「どのような団体に所属ですか？」そして、私は再び、「イエス」と答えました。私たちは、イエスを伝えたいと願う 70 代の小さきおばさん 2 人組です。それで女性は、私たちがこう呼びました。「イエスを代表する女性二人組？」わお～さらに良くなります。パレードの開始を待つ間、列に並んでいると、ベヴの車のバッテリーが、不思議なことに、(警報音)切れてしまい、慌てて動かしてくれる人を探し奔走することになりました。走り回っていると、4 人の別々のクリスチャンが助けに来てくれました。悪魔は本当に私たちが止めようとしてました。しかし、神は。私たちは、イエス・カードの付いたお菓子の袋を 160 個、道行く子どもたちに投げ渡しました。信じられませんでした。多くの大人が手を振って応援してくれ、看板の写真を撮ってくれました。ベヴと私が毎週見ている「預言・アップ」がなかったら、人々をイエスに導くこの素晴らしい方法について知ることはなかったかもしれません。私は RV 車に住んでいます。それでパレード後、自分のプロパンタンクに誰もがみれるよう 1 枚の看板をつけました。ベヴはクリスマスの間、それでドライブする予定です。もう 1 つは、庭に置きます。バージニア州フロイドから、あなたのするすべてに感謝。マラナタ。ドティより。」

(カポノ) 上がってきてください。神がこうなさるのが大好きです。ご起立ください。締めくくります。ご忍耐に感謝します。

天のお父様。ありがとうございます。お～(天を見上げる)その日はどんな日になるのでしょうか。その日は、どんなに輝かしい日になるのでしょうか。主よ、待ちきれません。私たちは、あなたを待ち懂れます。

あなたを切に切に求めます。あなたが来られることを切望します。イエスよ、来てください。早く来てください。ここにきている人、オンラインで見ている人で落ち込んでいる人の為に祈ります。どうか彼らを励まし、力づけ、希望を新たに、喜びを回復させてくださいますように。どうか主よ、彼らの信仰を強くしてください。主よ、このところ私たちはあなたの民として叩かれています。主よ、あなたはすべての気づいておられます。あなたは全てをご覧になっています。ですから主よ。特に、興奮と喜びが故、激しく叩かれている人のために祈ります。彼らを起き上がらせて下さいますように。彼らの唇に新しい歌を置き、足取りを軽ろやかにしてください。主よ、私達もダビデのようになりたいです。全く気にせず、遠慮なく、臆面もなく。主よ、ありがとうございます。イエス様、ありがとうございます。あなたを心から愛しています。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7